

令和３年１２月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和３年１２月２４日（金）１４時下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館２階大会議室に招集した。

出席委員は次のとおりである。

佐々木 文夫	教育長
田中 とし子	委 員
西堀 政幸	委 員
天野 美香	委 員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

糸賀 浩	学校教育課長
平川 博巳	生涯学習課長
土屋 大祐	学校教育課 参事
土屋 仁	学校教育課 課長補佐
内田 陽久	学校教育課 子ども育成係長
原 隆史	学校教育課 学校教育係長
金守 俊彦	生涯学習課 社会教育係長
澤地 彩	生涯学習課 図書係長

本会議録調製者は次のとおりである。

土屋 仁	学校教育課 課長補佐
------	------------

１ 開会

１４時教育長開会を宣す。

教育長	１２月１日開催の市議会１２月定例会本会議で天野委員の教育委員再任人事案件について、全会一致で同意を得た。
-----	--

	１２月１４日には、市長から委嘱状の交付を受けたため報告する。 今後４年間よろしくお願いします。
--	--

天野委員	今後ともよろしくお願いしたい。
------	-----------------

教育長	渡辺委員からは、欠席する旨の連絡をいただいている。
-----	---------------------------

２ 会議録署名人選出

会議録署名人に天野 美香 委員を選出。

3 11 月定例会会議録承認

事務局より資料に基づき説明、承認。

4 教育長報告事項

12 月事業報告及び 1 月事業計画について、学校教育課参事、生涯学習課長から資料に基づき説明。

教育長

新聞記事を参考に何点か報告する。

前回の定例会でも報告したが、市制施行 50 周年事業の一環として実施した、白浜小学校のニューポート市との交流についてのオンライン学習発表が新聞に掲載されたので紹介する。

次に、下田まち遺産No.8 下田公園親子散策教室が開催され、3 組が参加し下田公園の自然、歴史、文化を学んだ旨の記事が掲載された。

日本教育公務員弘済会静岡県支部の教育研究論文で、浜崎小学校の稲葉愛栄養教諭の「食に関わる資質・能力の育成を目指して」をテーマとした論文が最優秀賞に選ばれた。内容については後ほど確認いただきたい。

次にアシベ商事さんから、大賀茂小学校にスピーカーフォンとボッチャボールセットを寄贈いただいた。アシベ商事さんからは市内小学校に対して 1 校当たり 10 万円程度の寄贈をいただいております、小学校 7 校中 6 校目となる。

4 日に開催された静岡県市町対抗駅伝において、過去 2 番目の記録で、市の部 25 チーム中 23 位という結果について、渡邊監督、田中実行委員長から市長へ報告を行った。

選手は練習の成果を十分に発揮し、選手を支える実行委員の皆さんもチーム下田で頑張っていた。

次に、中学校統合時、通学生徒が増加すると予想される国道 136 号の本郷交差点について、下田土木事務所が安全対策の実証実験として、路肩にラバーポールの設置を行い、車両への影響調査を実施した旨の記事が掲載された。

15 日には、下田市寿大学で、スポーツ推進委員が講師を務め、健康講座を開催した。

先ほどもアシベ商事さんの寄贈について報告したが、20 日には地域貢献の一環として浜崎小学校放課後児童クラブにケーキとお菓子のクリスマスプレゼントをいただいた。

アシベ商事さんからは、小学校に限らず、放課後児童クラブ等にもクリスマスプレゼントの寄贈をいただいている。

次に、本定例会で審議をいただくが、23 日に 17 回目となる下田市立学校統合準備委員会を開催し、第五次答申をいただいた。

統合準備委員会は平成 2 年度から足掛け 4 年開催し、今回で最後となる。

また、伊豆新聞には、校歌の歌詞が掲載されている。準備委員会では、歌詞に合わせた下田の風景や学校の画像を取り入れた DVD を披露した。後ほどご覧いただきたい。

以上であるが、報告事項について質問等はいかがか。

全委員 特になし。

教育長 それでは、教育長報告事項は承認するものとする。

5 議事

(1) 報第 46 号 下田市立学校統合準備委員会第五次答申に伴う方針決定について

教育長 議第 46 号下田市立学校統合準備委員会第五次答申に伴う方針決定について事務局の説明をお願いします。

学校教育課長 議第 46 号下田市立学校統合準備委員会第五次答申に伴う方針決定について、教育委員会の意見を求めるもの。

12 月 23 日に開催された下田市立学校統合準備委員会の終了後、森本会長、武井副会長から新中学校のあり方、新中学校の校歌について、第五次答申をいただいた。

答申の内容であるが、新中学校のあり方については、下田市教育大綱に基づいた学校教育目標とランドデザインに示されている。

学校教育目標については、自ら学び、睦まじく、共に励むとし、7つの小学校から子ども達が集まり、下田の自然など様々な資源をふんだんに活用しながら、多くの体験や学びを積み重ね、それによって、一人一人の可能性を伸ばして行きたいという理念で考えられている。

次に新中学校校歌については、何回か教育委員会で報告しているが、先ほど教育長からも報告があったようにDVDを作成した。

校歌検討プロジェクト会議メンバーの下田中学校三室教諭に歌唱、稲生沢中学校渡邊教諭に伴奏をお願いした。

それではご覧いただきたい。

～DVD視聴～

教育長 DVD、写真等はどのように作成したのか。

学校教育係長 DVDの編集は、渡邊教諭にお願いし、風景写真は市、観光協会等のフリー画像を使用している。中学校校舎については、新たに撮影した。

教育長 子ども達の思いの一つ一つのフレーズを読み取りながら作詞していただいた。校歌に対する感想はいかがか。

田中委員 夢がある校歌だと思う。歌詞も良く歌い手も良かった。

天野委員 卒業式等その場にいるような感じがして、とても響いた。

学校教育課長 事務局としては、この統合準備委員会からの第五次答申の内容を教育委員会の方針として決定していただきたいと考えている。

教育長 学校のあり方、校歌について、昨日統合準備委員会から答申をいただいた。
委員の皆さんから意見等あったらお願いしたい。

全委員 特になし。

教育長 それでは、議第 46 号下田市立学校統合準備委員会第五次答申に伴う方針決定については原案のとおり承認するものとする。

6 協議報告事項

教育長 次に協議報告事項について、事務局の説明をお願いします。

学校教育課長 11 月定例会において、12 月定例市議会に提出する令和 3 年度下田市一般会計補正予算（第 11 号）の承認をいただいたが、11 月定例会後に変更があったもの。

歳入では 19 款 2 項 1 目 14 節学校施設整備基金繰入金が変更前は 49,800 千円の減額であったものを 41,800 千円の減額とし、21 款 1 項 4 目 1 節中学校債を新たに 6,000 千円増額した。

歳出では、9 款 3 項 1 目中学校費 6196 中学校再編事業を 14,000 千円増額し、26,308 千円とした。

下田中学校整備工事を 14,000 千円増額したもので、歳入の 14,000 千円を財源として充当する。

工事費の 14,000 千円の増額については、既存校舎の改修、既存屋内運動場の改修を施工する中、当初予定していた部分に比較して、改修しなければならない箇所が多く、約 14,000 千円の工事費の不足が生じる見込となったため増額を行ったもの。

教育長 補正予算の修正について、質問等あればお願いしたい。

委員 特になし。

図書係長 下田市子ども読書活動推進計画第三次計画案を配布した。

教育委員会 7 月定例会で承認いただいた 11 人の策定委員とともに検討したもので、情報化が急激に進む世の中で、子ども達が自分から進んで読書を楽しみ、自分の好きな一冊を持つことを目標に計画を策定した。

今後の予定については、先ほどの事業計画にもあったとおり、1 月 7 日から 2 月

6日までの期間パブリックコメントを実施する。

その後、策定委員会を開催し、整理したうえで、教育委員会2月定例会で議題として提出する予定である。

計画案については、確認いただいた後、質問等があれば後日連絡いただきたい。

教育長

1月7日からパブリックコメントを行い、市民の意見をいただく中で、委員の皆さんにも確認いただき、質問・意見等があれば、図書館にご連絡をいただきたい。

今後市民の意見により、多少変更の可能性もあるが、教育委員会2月定例会で承認を得るというスケジュールで実施する。

意見があればお願いしたい。

全委員

特になし。

学校教育係長

中学校再編説明会の資料を配布した。

先ほど12月事業報告でも報告したように、各中学校区単位で統合初年度の1年生から3年生となる、現在小学校6年から中学校1、2年生の保護者を対象に開催したところ、168人と多くの方に参加いただいた。

特に通学のバスダイヤと再度部活動の調査を行うため、部活動についての説明を行った。

資料には、保護者の皆さんからの質問、意見、それに対する回答を記載した。

通学も含め大きな反対等は無く、具体的な意見、要望をいただいた。

今後も通学、部活動については、保護者の皆さんと意見交換しながら進めて行きたい。

教育長

各中学校区で小学校6年生、中学校1、2年生の保護者を対象に再編説明会を開催し、保護者の皆さんからの意見を掲載した。

質問、意見があればお願いしたい。

田中委員

保護者からの通学、部活動に対する意見について、方向性は示されているのか。

学校教育係長

今回の説明会の目的は大きく通学、部活動の二つをメインに説明し、個別の質問に対しても現時点で未定の部分以外は、方向性は示している。

教育長

今後、新たな学校でルール作りをしていかなければならない部分も出てくる。

統合準備委員会においても、10月以降の部活動の時間が30分しか確保できないことに対して、10月中旬までは日没までは余裕があるため、活動時間を延長できないかとの意見があったが、下校バスのダイヤを月の途中で変更することが困難ということで、10月以降は16時30分完全下校とした旨の説明をした。

今後、学校がスタートし色々な意見が出ることも想定され、実際に運営を行い、課題があれば検討することとしたい。

部活動についても、中体連の大会への出場は、原則１チームという方向性で進んでいるが、これも絶対ということでは無い。

実際に学校を運営して行くのは４月からの新しい先生方であるので、その中で協議をしてもらうことで考えている。

天野委員 課題の一つとして、携帯電話の所持を認めてもらいたいという意見については、どのように対応するのか。

教育長 文部科学省からは、一定の条件のもとで、携帯電話の所持を認める旨の通知がされている。

安心、安全を考慮し、個々で必要となれば、やむを得ないものとして許可する可能性もあるが、学校の実情等も踏まえ、校長会で検討することとなっている。

天野委員 もし所持を許可することとなれば、ホームルーム時に教職員に必ず預ける形となるのか。

教育長 預かるまでは良いが、生徒に返却する時が難しいと思われる。

ホームルーム時に返却しても、ホームルームの後に部活動を行う等、ルール作りが、すぐにはできないのではないかとと思われる。

天野委員 先生方の多忙化にもつながる。

教育長 この問題については難しい。

安全確保の面からは、遠距離で１人での通学時の、不審者等を考えると許可制にしても良いのかとは思いつつ、最終的には学校側の判断になっていくものと思う。

田中委員 大変難しい問題で、生徒との信頼関係のもとでやるということならそれで良いが、休み時間に使用する等、他のことで使用する可能性も考えられる。

やはり、生徒と先生達の間で、約束事を決めて、実施するしかないと思う。

教育長 私達としてみれば、いろんなことを考えて、所持を認めてあげたいと思うが、子ども達は、発達段階が違い、ルールを決めてもルールに従えなく、問題が起きるケースも当然あると思う。

まず賀茂地域では現在のところ所持を認めていない。

これから先は子ども達の自主性、自覚ということになるが、自己管理、自己判断できるような子どもを育てられれば良いが中々難しい。

今のところ、学校に判断を預ける形になると思う。

他にいかがか。

学校教育係長 先ほど校歌についても承認いただいたため、ご覧いただいたDVDの内容を

YouTube、Facebook 等で公開したい。

年内中に処理を行い、年末或いは年始からは公開できるように対応する。

教育長

YouTube はどのように視聴するのか。

学校教育係長

市のホームページから YouTube にリンクさせ、市のホームページからアクセス可能とする予定である。

田中委員

昨日、市制施行 50 周年記念実行委員会が開催され、教育長は出席していなかったため意見を預かってきた。

記念行事の実行委員会は 3 月に終了し、その後 50 周年の予算は確保できないが、民間の方達から、色々な行事を開催する際に 50 周年記念の冠を付けて事業実施することは来年の 12 月頃までは良いのではないかということになった。

その中で、委員の 1 人から、中学校の統合について 50 周年記念の冠をつけて何か実施できないかとの意見があった。

私からは、学校は統合で大変な時期で、まだまだ、まとめや様々な決め事をしていかなければならないため、無理ではないかとの意見を伝えた。

教育長が出席していれば、はっきり答えたかと思うが、明日の教育委員会で協議してもらおう旨回答した。

もう一点は、花火大会の際に、同級生で学校の体験学習を受け入れている事業者さんに会うことがあった。

事業者さんからは、現在は状況が段々良くなっており、体験に訪れる修学旅行生も多くなっているが、下田市内の子供たちの体験活動の機会が少なく、もっと体験活動を実施したらどうだろうという意見をいただいたため、教育委員会で伝える旨を回答した。

教育長

まず、二点目の体験学習については、全校、全学年が同一の体験を実施するわけではないが、ある程度の学校、学年は実施している。

それが例年に比較して少なくなっているということなのか。

田中委員

教育委員会から、学校に対して特定の体験学習をなささいとは言えないと思う。事業者さんは、必要なら来てくださいという意見だと思う。

教育長

学校はそれぞれ体験学習を実施している。

市内には様々な体験学習のメニューがあるという話を校長会でさせていただく。

次に冠事業の件であるが、予算は確保できないが、令和 4 年 12 月まで実施するとのことのようなのであるが。

田中委員

事務局は令和 4 年 3 月で終了し、その後は、企画課に申請することにより、事業が実施できるとのことのようだ。

例えば、合唱発表会等に冠を付けて実施しても良いが、メリットが感じられない

のではないかと思います。

教育長 当然新たなものは考えられないため、既存の行事に冠を付ける程度かと思われる。

教育委員会からは、各学校へ冠事業を実施したい場合は、教育委員会へ報告をお願いする程度になるかと思う。

田中委員 本件についても、強制ではなく、実施したらどうだろうという程度の意見であった。

2020 東京オリンピックと同様の考え方で、来年 12 月までは、50 周年としたいという意見であった。

教育長 先ほどの件も含め、この 2 件については、市の校長会で、話をさせていただく。

学校教育課 タブレット端末 Wi-Fi 接続テスト結果をご覧いただきたい。

参事 新型コロナウイルス感染症で、臨時休業になった場合など、タブレット端末の持ち帰りが考えられ、また今後 ICT の活用が進んでいくことを考慮し、家庭の状況を把握するため、10 月から 11 月にかけて接続テストを行った。

テストの結果は、全体の約 95% の家庭で接続が可能であった。

接続が出来なかった家庭数が小中学校全体で 52 件であったが、その時点では設定がうまく行かない場合や、家族が不在で設定が出来なかった等の理由がある。

教育委員会でも機器の準備はしているが、今後実際に Wi-Fi 環境がなく接続できなかったという家庭の確認を行う。

現時点で 52 件であるためこれよりも少ない家庭数になると思われる。

近日中に詳細を確認し、対応したい。

教育長 緊急時、非常時に家庭に持ち帰りとなった場合、52 件の家庭が問題になってくるの。

オンライン学習を実施するとなると、接続可能件数を 100% にしなければ、教育委員会として、端末設置が出来なったということに繋がる。

今から、理由を調査し、100% の環境に持って行く努力はしていかなければならないと考えている。

天野委員 接続テストの日、家で様子を見ていた。

教室と違い、オンラインの場合は、子ども達も意見が言い易いようである。

子ども達と先生のやり取りのテンポが非常に良く、オンラインには、このように良いところがあるのだと感じた。

7 その他

教育委員会 1 月定例会を 1 月 21 日（金）13 時 30 分から下田市立中央公民館大会議室で開催。

8 閉会

12 月定例会 12 月 24 日（金）14 時 00 分開会。

教育長 15 時 05 分に閉会を宣す。

会議録署名人